

社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役社長 稲垣良次

2015. 12
No.268

品質とTPMについて

毎年一二月は「品質月間」です。

全国統一テーマは、

「あなたが主役 みんなでつくる感動と安心を！」

イナテック標語は、

「標準を守る作業に ムダなし ムリなし 苦情なし」

品質大会でお話ししましたように、イナテックはTPMをベースとして会社を運営いたしております。

そこで「品質とTPM」の必要性について述べさせていただきます。

品質最優先はTPMがベースです。

例えば、設備故障が多発すれば、不良品が流出する可能性は高くなります。

ですから、TPMを通して、設備故障をなくして、変化点が少なく、安定したラインにすれば良品を作ることができます。

そしてお客様に100%良品をお届けして、感動していただき喜んでいただくこと、また次の受注につなげていくことがイナテックの使命です。

その後、会社利益を出し、皆様の給料が上がり、ご家族の方々が幸せになっていくことが目的です。

TPMの目標は、

- ・設備に強い人づくり
- ・製品に強い人づくり

そして、これは間接の方々も製造設備に強くなつて下さい、製品に強くなつて下さい、ということです。

つまり、全社員の方々が同じ土俵で徹底的に議論できる会社にするということです。

そのためには、イナテック企業理念で申し上げている「自分を磨く、鍛える」ことによつて、い

い仕事ができる人になり、その集団を創りあげることです。

TPMを徹底して、

こんな会社になりたい

私が毎週読んでいる「船井FAX」に某装置メーカーの記事が載っていました。

「某装置メーカーは40名いる従業員全員がメンテナンスを行うことができます。さらに自社製品だけでなく、他社製品であつてもメンテを行うノウハウを持っています。

また設計者全員が営業を兼務しており、装置メーカーにありがちな不況の谷の時であつても、社員が持ちこたえられることはありません。

この装置メーカーは営業利益率が二割近い高収益企業です。」

イナテックもTPMを徹底して、全員が習得し極めることによつて、先程の某装置メーカーを目指せるわけです。とても具体的に分かりやすい事例で、是非実現させたいと思っておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

イナテック社長塾開講

今月一二月より月に一回、課長代行の方々に人財育成研修を行います。

目的は、「何のために働くか」です。

それは、人とつながり、人に喜ばれ、そして世の中のためになること(仕事)を通じて、「この世に生まれた自分の役割を果たすため」ということです。

また、「できるだけ多くのお客様に喜んでいただく」ためであり、「自分に続く部下を育て、世のために役立とうとする人財を送り出すこと」です。

論語に次の言葉があります(致知二〇一五年一二月号)

「其の身正しければ令せずして行われ、其の身正しからざれば令すと雖(いえど)も従わず」
意味は「上にある者が正しければ命令しなくてもよく行われ、正しくなければどんなに厳しい命令を下しても、民はついてくるものではない」ということです。

つまり、「リーダーたる者、常に学ぶべし」と思っております。このような思いで、社長塾を開講いたします。

私の右腕

私の右腕の上腕筋は第四頸椎筋肉萎縮症で、皆様にご迷惑をお掛けしています。

幸い私は加齢が原因ということですが。右腕の上腕二頭筋はよくありませんが、そのまわりの筋肉を鍛えておりますし、左腕は健在です。まだ五体満足だと思いい頑張りますので、応援して下さい。

なにせイナテックの一〇〇周年を九九才で見届げるためにも頑張ります。

三二

矜名、不若逃名趣。練事、何如省事間。

名に矜^まるは、名を逃る^もるの趣^しあるに若かず。事^ねを練るは、何ぞ事^ニを省く^ミの閑^んなるに如かん。

一 事^ねを練る——ものごと^ニに練達^だになる。二 事^ニを省く——余計なものを減らす。三 閑——閑と同じ。のんびり。余裕があるの意。

名声を世に誇るの^は、できるだけ名声を逃れることの奥ゆかしさには及ばない。また、ものごと^ニに練達^だになるよりは、できるだけ余計なことを減らすことの方が、はるかに余裕がある。